

憩いのパークの魅力

秋の風情「ホッツケ田」と「ススキの小径」

～古河公方公園～



◀公園の農の風景のひとつとして親しまれている「ホッツケ田」

9月は収穫の秋、稲刈りのシーズンです。皆さんは古河公方公園の南側、御所沼のほとりに「ホッツケ田」という田んぼがあるのをご存じでしょうか。民家園や茶畑などと並び、公園の農の風景のひとつとして親しまれています。

ホッツケ田とは、湖沼や湿地などを掘り付けて作った田んぼのことで、この地方ではそれをホッツケ田と呼んでいたようです。

平成12年5月に「どろんこクラブ」がスタートし、ホッツケ田の再生と管理が始まりました。現在も親子約50人のメンバーが元気に活動しています。

5月の田植えではメンバーが育てた苗を植え、今ではたくさんの穂を付けています。今月末に収穫を行うと、ホッツケ田はひとまずその役割を終えます。

ホッツケ田から西へ向かう園路は、通称「ススキの小

径」。これからの季節オススメのお散歩コースです。両側にススキが生い茂り、公園の秋を演出してくれています。



▲ススキの小径

この他にも、サルスベリ、ハギ、彼岸花、コスモスといった植物が秋の公園を彩ります。散策がしやすい季節になってきました。公園の秋を探しにぜひお越しください。

【問】古河総合公園管理棟
☎47-1129

表紙写真



古河の夏の風物詩として定着してきた「夢あんどんと夕涼み」。大好きなパパを描いたあんどんに火が灯り、ゆらゆらと揺れる明かりを見て何を考えているのかな。

8月15日は雨が降ってしまい、古河歴史博物館の玄関前での展示でしたが、たくさんにあんどんに囲まれる空間は、いつもとは違う世界でした。

かわいらしい虹色の合羽も柔らかな明かりに包まれ、とても幻想的に見えていました。

寄付

小池武男さんより、総和福祉センター「健康の駅」、いちようプラザ他へアルミ製車椅子3台、車椅子の付属品1式、アルミ製4点杖6台の寄付。

古河市データ

人口

(8月1日現在) 住民基本台帳から
総人口 144,303人 (-31)
男 72,749人 (-35)
女 71,554人 (+4)
世帯数 60,388世帯 (+99)
() 内は前月比